

## 【RPDCA サイクルで学力向上推進】

南会津教育事務所では各町村教育委員会と連携しながら、学力調査の分析をもとにした学校のニーズや課題に合わせた学力向上支援（相談訪問、オンラインでの打合せ、研修会の開催等）を推進し、以下のような RPDCA サイクルの確立をめざしています。

- R：9月「全国学力・学習状況調査」「ふくしま学力調査」の結果をもとにした分析
- P：分析結果をもとにした自校の課題解決に向けた計画
- D：課題解決へ向けた集中的な取組
- C：次年度の「全国学力・学習状況調査」「ふくしま学力調査」による評価
- A：評価をもとにした計画の再取組

このように RPDCA サイクルを9月はじまりとし、年度はじめのスタートにこだわらず取り組むことが学力向上に向けたサイクルをより円滑に進めることができると考えます。

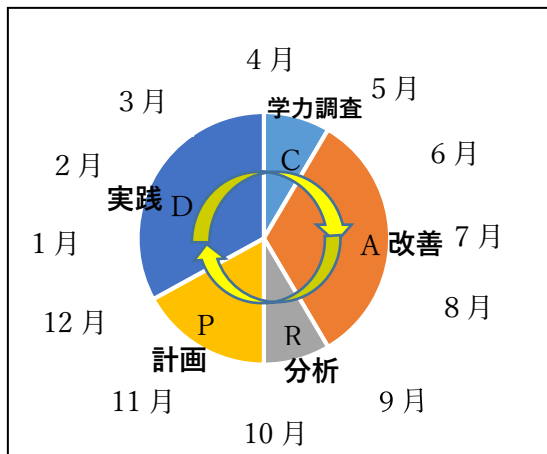
実施主体		R3			R4			
		9月	10月	11月	12月	1月	4月	5月
学校	学力調査（実践）	結果分析	課題の報告	取組内容 計画	取組内容 計画	取組開始	学力調査	新年度 職員との 共通理解
地教委				各校の課題把握 地教委の方針	取組方 針につ いての 打合せ	各校への支援 事務所等との連携 中間チェック	実施に向 けた支援	各校への支援 事務所等との連携
事務所			課題把握	各校課題に向けた 支援策検討		各校への支援 義務教育課等との連携	実施に向 けた支援	各校への支援 義務教育課等との 連携

横長のスケジュールを円として、よりサイクルを意識して表したものが右の図です。

事務所としてこの RPDCA サイクルをもとに、学校や教育委員会のニーズに応じた学力向上支援を行っていきたいと考えています。各校で学力向上策について考える際、ぜひ参考にしてください。

そして、次年度の教育課程編成において全職員に周知いただくとともに、自校の課題解決の一助としていただきたいと思います。

【学力向上オンライン打合せ】



## 【各校の今後の取組について】 RPDCA

自校の課題を踏まえた「学力向上支援シート」をもとに、4月までの実践スケジュールを校内で共有し、計画的・継続的に実践を行っていただければと思います。

コロナ禍で計画どおりにはいかない場面もあるかもしれませんが、スケジュールを修正しながら子供たちの個別最適な学びを継続して支援していただければと思います。

- 課題がみられる分野の補充学習
- 単元の重点学習
- 活用力育成シート等の活用
- 学年の総復習
- 条件作文（書くことに慣れる指導）
- 学年末休業中の課題 など

## 【ふくしま学力調査・児童生徒の伸びに着目して】 RPDCA

自校の実態把握のために、ふくしま学力調査の結果をぜひ活用してください。

その一つとして「学力の伸び」算出ツール（帳票 40）で、今年度と一昨年度との比較ができます。「学力を伸ばした児童生徒」は、一昨年度と比較して、学力のレベルの数値が2以上増加しています。また、学習方略や非認知能力（自己効力感、やり抜く力、意欲等）の比較もできます。以下は、域内で学力の伸びが大きかった学校【小6】の取組です。国語で伸びの大きかった学校も算数で伸びが大きかった学校も、共通しているのは個別指導の充実を図っている点です。各学校において取り組んでいる今年度の効果的な取組を継続して実践していただければと思います。

### 【国語】

#### <伸びを引き出した効果的な取組>

##### ① 全国学力・学習状況調査の分析

全国学力・学習状況調査を分析して明らかになった学校の課題を全職員で共有し、全学級で求められている力を意識しながら授業づくりを行った。

##### ② 個に応じた指導の充実

授業の際には一人一人の状況を見取り、とくに下位児のつまずきに丁寧に対応し、基本的事項の定着に努めた。

また、自主学習に熱心な児童のノートを展示したり学年通信に掲載したりした結果、少しずつ全体の家庭学習の内容が充実していった。

##### ③ その他

一人一人の学習機会を充実させるため、どの教科でも、自分の考えを友達同士で「伝える」「受け取る」活動を重視した。また、単元の終末に「〇〇新聞」を作らせることによって、自身の学習を振り返る機会を設けた。

新型コロナウイルス感染症の影響で休校となった期間にはシラバスを作成し、各家庭で教科書をもとにした自主的な学習を呼びかけた結果、学校全体として、主体的に学ぼうとする意欲が高まった。

### 【算数】

#### <伸びを引き出した効果的な取組>

##### ① 学習リーダーを活用した複式指導の充実

担任が学習リーダー（輪番制）と打合せをし、他学年の指導に入った際に児童のみで学習を進められるようにした。わからないところは児童同士で教え合うスタイルが定着し、主体的な学びにつながった。課題が終わると自分からワークやドリル学習に進むことができた。

##### ② 個別学習の充実

単元を通して習熟を図るプリントを準備しておき、空いている時間に自分のペースで進められるようにした。単元末に復習の時間を設け、個別指導の充実を図った。

##### ③ ペア活動・話し合い活動・振り返りの充実

全員発表の時間を設け、友達と自分の考えと比較したり、根拠を明確にして説明したりできるよう意識を高めた。振り返りも自分の言葉でまとめるようにした。

## 【令和4年度の学力調査予定】 RPDCA

○ふくしま学力調査・・・令和4年4月13日（水）※予備日14日（木）

（対象：小4～中2）（対象教科：国語、算数・数学）

○全国学力・学習状況調査・・・令和4年4月19日（火）

（対象：小6、中3）（対象教科：国語、算数・数学、理科）

※ 令和5年度の全国学力・学習状況調査（令和5年4月18日（火））は、対象教科が国語、算数・数学、英語（中）となる予定です。

福島県教育庁南会津教育事務所 学校教育課

TEL 0241-62-5255 HP <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70510a/>



## 【算数・数学授業づくり研修会より】

算数・数学授業づくり研修会の中で、義務教育課の加藤政記指導主事より、よりよい授業（授業改善の視点や教師の言葉かけ、学級づくり等）について、算数授業動画の解説がありました。

参加者の先生方からは、以下のような感想が寄せられました。

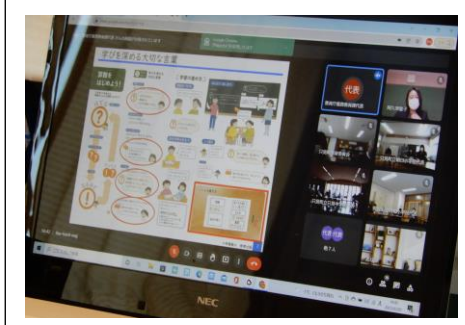
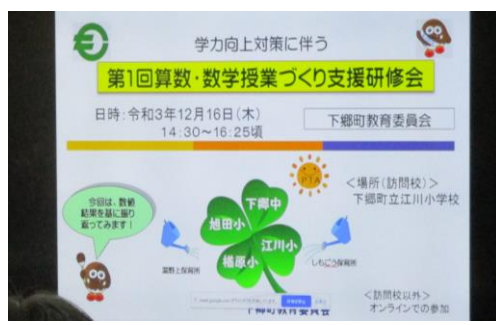
「具体的に授業のイメージを持つことができた」

「『いい？』『分かった？』を普段の授業で使っていることに気付くことができた」

「『いいですか』を『え？』『本当に？』『絶対に？』にしていく」という問い返しなど、児童の思考力につながるようなコーディネートについて今後の授業実践に生かすことができると思った」

これまでの授業を振り返り、今後の授業改善に役立てていく視点が得られる研修会でした。

なお、域内の他の学校の研修にも活用していただけるよう、パワーポイントにまとめた資料をgoogle classroom（学力向上）に載せておきますので、ダウンロードする等ぜひご活用ください。



下郷町算数授業づくり研修会(12月16日)

只見町算数授業づくり研修会(2月1日)

